

ようこそ、無人駅の先のワンダーランドへ



# UNMANNED

## 無人駅の芸術祭 / 大井川

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA 2021

2021年3月5日(金) — 28日(日) / 24日間

※屋内展示は毎週金・土・日の10時~16時

大井川鉄道無人駅周辺(静岡県島田市・川根本町)

参加アーティスト(50音順): 安部寿紗 / 形狩り衆 / カトウマキ / 木村健世 / 小鷹拓郎  
小山真徳 / さとうりさ / 三本木欽 / 澁木智宏 / ナカムラマサシ / 夏池篤 / ヒデミニシダ  
ひびのこづえ / 村上慧 / 歪んだ椅子 / カ五山(加藤力、渡辺五大、山崎真一)

主催=NPO法人クロスメディアはまだ 支援=静岡県文化プログラム推進委員会 協力=島田市、川根本町、大井川鐵道株式会社  
助成=公益財団法人 福武財団、島田市「アートによる地域づくり推進事業」、ふじのくに#エールアートプロジェクト

<http://unmanned.jp>

木村健世「無人駅文庫」(UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川)  
photo: 鈴木竜一朗 model: 小玉はる、若田芽依、若田光莉

公益財団法人 福武財団

ふじのくに  
#エールアートプロジェクト  
FUJINOKUNI YELL ART PROJECT

2020  
SHIZUOKA  
静岡県文化プログラム

# 無人駅がひらくと地域がひらく



かつて大井川鐵道は地域をつなぐ大動脈でした。産業の変化、交通網の変化という時代の流れの中、つなぐ役割は残しながらも、地域との関わりのあり方は大きく変わっていき「無人駅」という空間が生まれました。「地域の人が減っていく」。この日本中の課題の象徴的な場所が、鉄道駅の「無人駅」だと考えます。情報化・効率化とともに無人化が進む日本の地域社会において、無人駅というフィールドが日本そのものに見えてきます。

しかし、無人駅を入口として広がる集落には、昔からの暮らし、生活文化が今も息づき、畑仕事や隣近所の集まりを大切に豊かでいきいき暮らす人々が確かに存在します。私たちが、無くしかけてしまった、地域の『記憶』『風景』『営み』があるのです。無人駅は入口。現代社会が置き忘れた姿があります。

UNMANNED (アンマンド) は、無人の、という意味。無人と呼ばれるこの場所で国内外で活躍するアーティスト達が「記憶」「風景」「営み」を多彩に表現する24日間。

さあ、無人駅フィールドを舞台とした芸術祭を開催します。あなたの目でアートに彩られた新しい景色を発見してください。

# 公式イベントに参加して UNMANNEDをもっと楽しもう!

## 「RYU」ひびのこづえ×藤村港平×小野龍一

ここでしか見られないひびのこづえ衣装によるパフォーマンス! ヒデミニシダ「境界の遊び場I/浮かぶ縁側」を舞台に行います。広大な茶畑の中の幻想的なパフォーマンスは圧巻。  
(アーティストやプランは中面参照)



公演日: ① 3月6日(土) 14:00~

② 3月7日(日) 11:00~ / 14:00~

③ 3月20日(土) 15:00~ ④ 3月21日(日) 11:00~ / 14:00~

会場: 抜里エリア(抜里駅より徒歩5分・ヒデミニシダ「境界の遊び場I/浮かぶ縁側」)

座席: 1席 1,000円(先着20席・要予約)

予約: HPのイベント申込フォームより [http://unmanned.jp/event\\_2021\\_21/](http://unmanned.jp/event_2021_21/)

## 「相関差模型」歪んだ椅子

抜里駅集落全体が作品になっています。まずはガチャポンを回して“指示書”を手に入れ、指示を通して参加してください。指示はあなた自身の解釈でOKです。あなた自身が関わった痕跡によって、作品が風景が変化していきます。抜里集落ののどかな風景と合わせてお楽しみください。  
(アーティストやプランは中面参照)



参加方法: 会期中いつでも

## 「Tea Box journey」三本木欽

Tea Box Journeyは「茶葉を運ぶ」という用途を鉄道を介して再現。茶箱を見かけたらぜひあなたの行き先に連れていき、目的駅に着いたら置いてください。箱の蓋は乗車後にお開けください。常時6つの茶箱が参加者の手によって列車を移動します。見かけたらぜひ運んでください。  
(アーティストやプランは中面参照)

参加方法: 会期中いつでも

## 「線の上から」澁木智宏

塩郷駅舎に、「ここに来る誰か」ゆきの切符が展示されています。この展示された切符を一枚お持ち帰り下さい。その代わりに、あなたも「誰か」に向けてメッセージを記入し切符を発行して下さい。切符を通して、同じ塩郷駅にいたという繋がりを持つ「ここにいた誰か」を想像してみましょう。  
(アーティストやプランは中面参照)



参加方法: 会期中いつでも

## 「お米のあかちゃん」安部寿紗

代官町駅に「お米のあかちゃん」が1,000粒出現します。あかちゃんたちは、名前を付けられることを待っています。気になったコに名前をつけてください。ご希望の方は、会期終了後名前のつけられたあかちゃんをご自宅に郵送いたしますので、申込用紙にご記入ください。(着払いとなります。)最終日には、たくさんの方がつけてくれた名前を叫ぶパフォーマンスを開催します。ぜひお越しください。  
(アーティストやプランは中面参照)



名前を呼ぶパフォーマンス

日時: 3月28日(日) 時間: 14:00~

会場: 金谷公民館みんくる(島田市金谷代官町3400) ※直接現地へお越しください

## 「封を開ける」カトウマキ

雑草を描くことと、大切な人に手紙を書くワークショップを開催します。無関心の象徴ともいえる雑草をスケッチする行為と、無関心の対極にある手紙を書くという2つの行為を行うことで人と人の温かな関係性を見つめ直します。  
(アーティストやプランは中面参照)



参加方法 日 時: 3月20日(土) 11:00~ 会場: 福用駅舎

持ち物: 色えんぴつ、ペン等 申込: 不要。直接現地へ(定員7名) ※雨天中止

## 「OPPAI:RELATION(融和)」ナカムラマサシ

「あかいささふね」はインフォメーションセンター(ぬくりプラザ)で会期中制作できます。制作くださった「あかいささふね」はOPPAIの周囲に設置します。また、作品に関連した講座と楽曲演奏及び舞踏を行います。竹内康人(社会歴史学者)「大井川の歴史からみる東アジアの融和」と楽曲演奏  
舞踏演奏: 朝鮮古典舞踏(演者未定交渉中)  
(アーティストやプランは中面参照)



参加方法

※詳細は決定次第HPに掲載

申込: 不要。直接現地へ

## 開幕記念!アーティストトーク(オンライン ※予定)

UNMANNEDをより深く楽しむために参加アーティストとのトークをオンラインで開催。作品コンセプトや制作の裏話を聞ける貴重な機会です。

参加方法

日時: 3月6日(土) 19:00~

申込: HPのイベント申込フォームより [http://unmanned.jp/event\\_2021\\_22/](http://unmanned.jp/event_2021_22/)

## 案内人によるオフィシャルガイドツアー

案内人によるガイド付き鑑賞で作品をより深く味わおう!見どころや成り立ち、地域のことまでガイドします。当日のご参加大歓迎です!

参加方法

日時: ① 3月13日(土) ② 3月14日(日) 時間: 11:00~

集合・解散: 大井川鉄道抜里駅 申込: 不要。直接現地へ



## ザ・みどり探偵団 ~やっぱりみんなとお茶したい~

美味しいお茶の淹れ方を島田市でお茶屋を営む女将がレクチャします。外で美味しい緑茶を心行くまで楽しみましょう!(時間内にお気軽にお立ち寄りください)

みどり探偵団とは

お茶のあおしまの女将と古民家一棟貸しの宿熊のやの女将のタッグ!「みどりまみれになれ!」を合言葉に楽しく緑茶の美味しさを伝えます。



参加方法

日時: ① 3月7日(日) ② 3月14日(日) 時間: 9:30~15:30

会場: 抜里駅エリア徒歩5分「境界の遊び場IIちゃばらのカーテン(ヒデミニシダ)」

参加費: 300円。美味しい緑茶とおやつ付き(マイボトル持込大歓迎!) 申込: 不要。直接現地へ

## 島田の文化の先駆け「蘭契会」を知ろう

大正ロマンの時代(大正末から昭和初期)、島田の文化の先駆けとなった「蘭契会」。最先端の学者や作家を集め当時その知的レベルは国内最高水準。当時の貴重な映像を見ながら彼らの取組とエネルギーを知り、これからの地域文化を考えます。

参加方法

日時: 3月11日(木) 時間: 19:00~

会場: 地域交流センター歩歩路(島田市本通3丁目6-1)

申込: HPのイベント申込フォームより [http://unmanned.jp/event\\_2021\\_25/](http://unmanned.jp/event_2021_25/) 定員: 10名



## 悠友アート展 櫻花

古民家「野菊の宿」・石庭「黄金の国・ジパング」完成1周年記念として6名の作品発表を。

ぜひ足を運んでみてください。

日時: 3月20日(土)~28日(日)

時間: 10:00~16:00

(初日は11:00より、最終日は15:00まで)

会場: 野菊の宿(島田市福用192-1) ※福用駅より徒歩5分



# 大井川鉄道の乗車や作品鑑賞をより楽しむための心得

## その①

### 作品鑑賞は無人駅エリア。乗り降りする電車に注意して！

無人駅で乗車できるのは普通（ワンマン）電車のみ。SLや急行列車の一部は無人駅に止まりません。

## その②

### 電車の本数が少ないよ！時刻表を見て効率的に回る工夫を！

単線の鉄道のため、1時間に1本のペースでしか電車が来ません。ツアーへの参加や自家用車と電車を組み合わせた回り方など工夫を。

## その③

### トイレは目についたら必ず済ませるのがポイント！

普通電車にはトイレがついていません。無人駅も全ての駅にトイレが設置されているわけではありません。トイレは見かけたらこまめに済ませましょう。

## その④

### 無人駅での運賃の支払い方法は？

無人駅から乗車する際は、乗車口で「ワンマン整理券」をお取りいただき、下車の際に車両一番前の運賃箱にてご清算ください。

## その⑤

### 車の場合、駐車場所に配慮しよう！

単線の鉄道のため、1時間に1本のペースでしか電車が来ません。ツアーへの参加や自家用車と電車を組み合わせた回り方など工夫を。

## その⑥

### 挨拶が鑑賞&旅の基本です！

地域住民の方や他の来場者とはぜひ挨拶を。気持ちの良い挨拶は旅を何倍も豊かなものにしてくれます。

会期中、大井川鉄道はバス代行運転になっている区間があります。

日時によって内容が変更になっておりますので詳細は大井川鉄道HPをご確認ください。 <http://oigawa-railway.co.jp/>

#### 交通案内

芸術祭開催エリアは、大井川鉄道無人駅及び周辺となります

車利用：東京IC→（新東名高速道路約2時間）→島田金谷IC→〈芸術祭開催エリアへ〉  
名古屋IC→（新東名高速道路約2時間）→島田金谷IC→〈芸術祭開催エリアへ〉  
※駐車場は「エリアマップ（作品設置駅にて配布、公式サイト）」にて確認下さい。

電車利用：JR東京駅→（東海道新幹線約1時間）→JR静岡駅→（東海道線約30分）→JR金谷駅  
JR名古屋駅→（東海道新幹線約1時間）→JR掛川駅→（東海道線約15分）→JR金谷駅  
※JR金谷駅で大井川鉄道へ乗換かレンタカー等→〈芸術祭開催エリアへ〉

飛行機利用：就航先→富士山静岡空港→（直通バス25分）→JR島田駅→（東海道線約5分）→JR金谷駅  
※JR金谷駅で大井川鉄道へ乗換かレンタカー等→〈芸術祭開催エリアへ〉

#### レンタカーのご案内

トヨタレンタカー島田駅前北口 …… ☎ 0120-010-085  
ニコニコレンタカー島田金谷店 …… ☎ 0547-45-3420  
ニコニコレンタカー島田本通店 …… ☎ 0547-37-6464

#### タクシーのご案内

大鉄タクシー …… ☎ 0547-45-2121  
金谷タクシー …… ☎ 0547-45-2151  
平和タクシー …… ☎ 0547-36-1000  
島田タクシー …… ☎ 0547-35-3535  
大井タクシー …… ☎ 0547-45-3131

最新情報は公式サイトから

<http://unmanned.jp/>

FaceBook・Instagram・Twitterで  
「UNMANNED 無人駅の芸術祭」を検索



お問い合わせ

UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川  
事務局（NPO法人クロスメディアしまだ）

静岡県島田市日之出町 2-3  
TEL: 0547-35-0018 Mail: semiar@cms.or.jp

安部寿紗 Kazusa Abe



駅	代官町駅
場所	金谷公民館みんくる (島田市金谷代官町 3400)

兵庫県出身。2017年、2012年NPO法人 BEPPP PROJECT 運営のAIR清島アパート(大分)にて滞在制作。2019年より「黄金町アーティストインレジデンス」(横浜)レジデンス・アーティスト。

作品タイトル お米のあかちゃん

《お米のあかちゃん》をつくる。名付ける。名前を呼ぶプラン。会期前希望者につくる体験をしてもらい、会期中、訪れた方に名前をつけてもらう。会期最終日にお米のあかちゃんの名前を呼ぶパフォーマンスを行う。



今回作品イメージ

力五山 / 加藤力・渡辺五大山崎真 RIKIGOSAN / Riki Kato, Godai Watanabe and Shinichi Yamazaki



駅	日切駅
場所	ホーム 日限地藏尊 通り沿いの各所

越後妻有アートトリエンナーレ2009 出品を機に結成された3名の美術作家によるアートプロジェクトユニット。3人の名前から力・五・山とそれぞれ一文字ずつをとり命名。各々の作品性を維持しながらも三位一体となり、アートを媒体として地域社会の活性化を目指す「ゆるやかな共同体=協働体」である。

作品タイトル 表参道 一願いをつなぐー

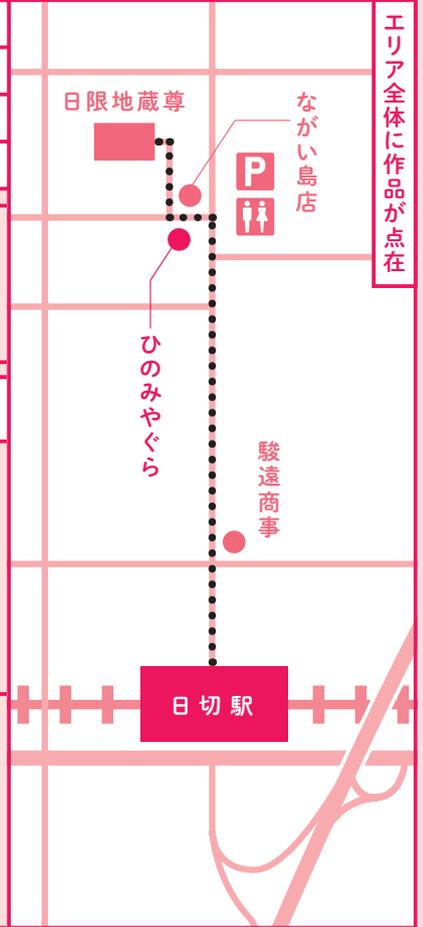
大井川は江戸時代より東海道の難所とされてきた場所である。人との隔たりのある場所をつなぐことが、とても大事な土地柄であろう。この地に住む人々は結びつきを大切にしている方々だと感じている。大井川鐵道は蒸気機関車や古い列車を現在に復活させ、また人気キャラクターの機関車を作り、様々な人々をつないでいる。日限地藏尊は、人々の具体的な願いを叶える地藏で、境内には参拝に訪れる人々が途切れない。この大井川鐵道の「日切駅」と「日限地藏尊」を結びつけ、過去、現在、未来へと願いをこめてつないでいく作品を展開する。



今回作品イメージ



今回作品イメージ



エリア全体に作品が点在

# UNMANNED

## 無人駅の芸術祭 / 大井川

ナカムラマサシ Masashi Nakamura



駅	福用駅
場所	北五和スポーツ広場 (福用駅東側グラウンド先)

川根町抜里生まれ。1980年から2018静岡県立高校美術教諭。グループ展及び個展多数。東日本大震災以降「あかいささふね」表現活動を行ってきた。2021年浜松Open Art 浜松城公園野外展事務局。

作品タイトル OPPAI:RELATION (融和)

「あかいささふね」は子供達の健やかな成長と世界の平和を祈るものである。「あかいささふね」制作コーナーを設置し地域の人に制作していただきOPPAI設置周囲に展示。OPPAIは母親を象徴するものである。TRUTH: 真実、ANGER、RAINBOWを3色で表現。会期には、講演や舞踏演奏も予定。



今回作品イメージ

カトウマキ Maki Kato



駅	福用駅
場所	駅舎

静岡県静岡市生まれ、在住。植物に不思議な縁や力を感じ、植物が私たち人間に送るメッセージとは何かを探求し、創作活動を行っている。UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川2020他。



「ここで、咲く。」(2020)

作品タイトル 封を開ける

私は数年前より人の無関心が気になり、それは空き家など人の想いが無くなった場で成長する雑草の姿と重なるように思えた。今回、地元の子ども達をメインに無関心の象徴とも言える雑草と、無関心の対極にある大切な人への手紙を添えることにより、人と人との温かな関係性を見つめなおす。

村上慧 Satoshi Murakami

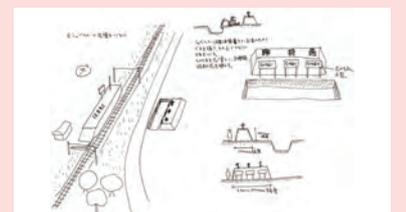


駅	抜里駅
場所	地 図 ②

1988年生。私(わたくし)と公(おおよけ)の関係に着目し、個人の生活が社会に与える影響を考察している。近年の展覧会に「移住を生活する」(金沢21世紀美術館、石川)など。

作品タイトル 土への手つき (ショベルカーで花壇を作る)

かつて抜里駅から見える河川敷を自らの畑として耕す人たちがいたことを教わり、生活は法よりも広いという当たり前の事実を思い出した。それは数年前に陸前高田市で見た景色と結びついた。国の復興事業により、山を切り崩した土をベルトコンベアで運び、大地に積み、街をまるごと10メートル程嵩上げしている。その巨大な装置の下で市民の有志が花壇を作っていた。同じ土なのに重機で運ばれる土と花壇の土とは全く違うものに見えた。



今回作品イメージ

さとうりな

Risa Sato



駅	抜里駅
場所	地図③(駅舎)
	地図④ (抜里防災センター)

1972年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。作品を用いたコミュニケーション手法を探り、屋外で展開するオブジェ作品を数多く制作。他に絵本作画、教育番組のアートディレクターなど活動は多岐に渡る。 www.risacan.com



「地蔵まえ3 / サトゴシガン」(2020)

作品タイトル 地蔵まえ4 (縫い合わせ)

これまでの「無人駅の芸術祭」のなかで制作したオブジェ作品が、地元の方々の協力を得てパルーン作品となって現れる。オンライン対話と配送を駆使した協働制作は、私たちにどれくらいの達成感を与えてくれるのだろうか。またそれはどんなふうに見る人へ伝わるのだろうか。 ※昨年の「地蔵まえ3 / サトゴシガン」も抜里駅舎に発表。

ひびのこづえ

Kodue Hibino



駅	抜里駅
場所	地図⑥(ヒデミニシダ「境界の遊び場 / 浮かぶ縁側」にて上演)
公演日程	① 3月6日(土)14:00~ ② 3月7日(日) 11:00~/14:00~
	③ 3月20日(土)15:00~ ④ 3月21日(日) 11:00~/14:00~

静岡県生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当中。野田秀樹作・演出の「廣作桜の森の満開の下」「Q」など多数の舞台衣装を担当。

ダンサー 藤村浩平 Kohei Fujimura

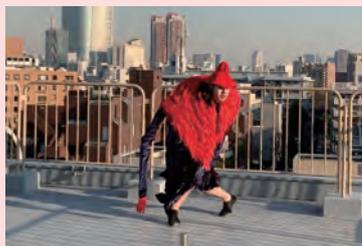
筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。フリーのダンサーとしてこれまでに、森山開次や平山素子、二見一幸、梅田宏明、Julie An Stanzak、Alessio Pizzech 等国内外問わず多くの振付家や演出家の作品に出演。

音楽 小野龍一 Ryuichi Ono

音楽家。1994年生まれ。東京藝術大学の作曲科を卒業後、同大学院美術研究科を修了。20世紀以降の音楽学・聴取論をベースに音楽、美術や演劇など、領域横断的に活動を行っている。

作品タイトル RYU

その土地にある、いにしへの歴史、伝説、言い伝えをテーマに。パフォーマンスの中で、どんどん進化を遂げ、未来に向けた新たな「伝説」を生み出していく。ダイダラボッチから未来を翔ける龍の登場まで、不思議なフォルムの衣装と、ダイナミックな身体と、空間をタイムスリップする音が、時空を超える。



今回作品イメージ



今回作品イメージ

日切駅 カ五山

合格駅 昨年11月「五和駅」から改称

門出駅 体験型フードパーク「KADODE OOIOWA」TOURIST INFORMATION「おおいなび」併設

神尾駅

福用駅 ナカムラマシカトウマキ

大和田駅

ヒデミニシダ

Hidemi Nishida



駅	抜里駅
場所	地図⑤
	地図⑥

1986年北海道小樽市出身。風景との対話を楽しむ環境芸術作品を多く手がける。ベルゲン芸術大学大学院を修了後、東京を拠点に活動。2018年から2019年にかけてポーラ美術振興財団在外研修員としてモスクワに滞在。

作品タイトル 境界の遊び場II / ちやばらのカーテン

茶畑の一角にひらひらと漂う大きなカーテン。下には円形のベンチが設えられ、訪れる人々の休息の場となる。茶畑の空に漂う薄く柔らかな布地の向こうには世界の輪郭が浮かび上がり、はたため裾から見隠れるその端々に、世界の細部がきらめく。 ※昨年の境界の遊び場 / 浮かぶ縁側も同時に発表



今回作品イメージ

歪んだ椅子 YUGANDA ISU



「歪んだ椅子」は二人の美術作家によるアートユニット。様々な存在、例えば、生活用品などの身の回りのオブジェクト、他の誰か、時には自分自身に割り当てられる、固定的な役割を一時的に忘れることで、それぞれの存在が自律して交流し合う状況を表現する。



「集中と散漫」(2019)

作品タイトル 相關差模型

会場にはガチャポンが置いてある。鑑賞者はガチャポンから指示書の入ったカプセルを手に入れ、指示を通して作品に参加する。その場にはいない不特定の相手と影響し合うことで、予感される全体像の共有を試みる。

小鷹拓郎 Takuro Kotaka



駅	抜里駅
場所	地図⑧(ぬくりプラザ)

1984年埼玉県生まれ。アーティスト、映像作家。噂話や伝説を社会構造と融合させるプロジェクトを国内外で発表。2017年に文化庁新進芸術家海外研修員としてタイで活動、2019年からポーラ美術振興財団在外研修員としてインドネシアで活動。

作品タイトル インドネシア人技能実習生、河童の狩猟技術を学ぶ

2010年にドイツ・オーバーハウゼン国際短編映画祭で上映された自身の過去作品「河童の捕まえ方を教えてもらう」を新たにリメイク。今回は静岡県内で暮らすインドネシア人技能実習生、猟友会、世間神楽保存会の人々と共にコロナウチンとして効能が確認された「河童」の狩猟を試みるドキュメンタリー映画を制作。



今回作品イメージ

夏池篤  
Atsushi Matsuike



駅 抜里駅  
場所 地図⑧ (ぬくりプラザ)

愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻修了。日・タイ彫刻シンポジウム(チェンマイ/2004-05)、ナメディ城野外美術展(ドイツ/2005)、静岡アートドキュメント(企画・展示、2007.08.11.14)、かけがわ茶エンナーレ(掛川市/2017) 他出展多数。



「続・川狩り」(2019)

作品  
タイトル 無人駅を回す

無人駅に関する広報・記録誌を箱の上で回し続ける。コロナ禍で重苦しい空気が充満する中、寛容でユーモラスな表現を届ける。高速で回転することにより、記された文字や写真は変容し、意味を超えたイメージへ昇華する。回せば経を唱えるのと同じ功德があるとされるタイのマニ車に通ずるものである。

小山真徳  
Masayoshi Koyama



駅 抜里駅  
場所 地図⑨ (大井川河川敷)

1981年愛知県生まれ。東京藝術大学卒。主な参加に大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(2018)、奥能登国際芸術祭(2017)など。

作品  
タイトル 盃と沢蟹

大井川流域には、デイトラ坊の伝説が残されている。わたしはこの巨人が使っていたであろう盃が大井川の河川敷に流れ着いた光景を表現したいと思う。大量の木材を流送し、高瀬舟が行き交った、かつての満々と水を湛えた大井川の面影を、作品を通して想起させたいと思う。



今回作品イメージ

木村健世  
Takeyo Kimura



駅・場所 塩郷駅  
ホーム  
駅・場所 抜里駅  
地図①(ホーム)

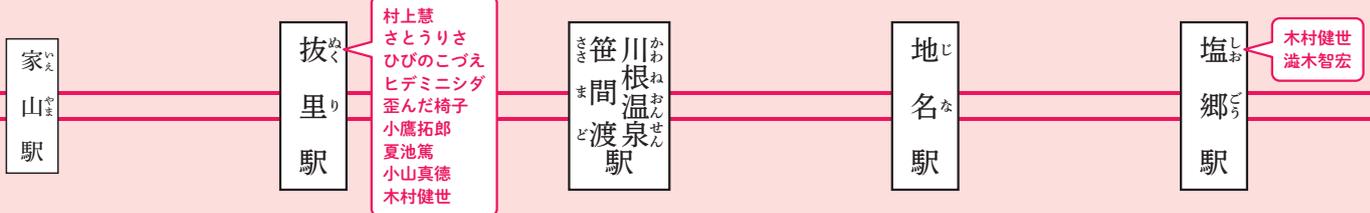
多摩美術大学建築科卒業。「まち」にさまざまなプログラムを挿入し場を再解釈するプロジェクトを手がける。近年は人の暮らしが紡ぐストーリーを聞き取りによって集め、場を文庫として捉える作品を多数展開している。



「無人駅文庫・福用」(2018)

作品  
タイトル 無人駅文庫・塩郷

無人駅を形作るもの。線路、ホーム、架線、風、それと人々が駅に残した記憶の欠片。インタビューによって集めた塩郷駅にまつわる記憶それぞれを一編の小説として捉え、あらすじを記した文庫目録を駅のホームに置く。数々の物語の断片はどんな駅の風景を見せてくれるだろうか。 ※昨年の「無人駅文庫 抜里」も抜里駅ホームに発表。



久米辰次商店  
アーム理容  
川根茶 ぬくり園  
茶畑  
大井川河川敷  
大井川

① 抜里駅  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨

インフォメーションセンター  
ぬくりプラザ  
島田市川根町抜里 320  
(OPEN 10:00~16:00)  
※休館日あり

澁木智宏

Tomohiro Shibuki



駅 塩郷駅  
場所 駅 舎

小樽市出身。武蔵野美術大学を卒業後、デザイン会社勤務を経て創作活動を開始。日常のありふれたもの同士に生じる境界をあえて曖昧にし、生まれる想像の余地を作品に内包させる。



「またはその一瞬」(2018)

作品タイトル 線の上から

誰かに向けて切符を発行し、受け取る行為の連続性としての「線」。切符の改札痕跡が作り出す、鉄道を介して行われた人の繋がりや痕跡としての「線」。塩郷駅待合室の空間の中で鑑賞者自身も線上に立ち、内と外と後ろと前に思いを馳せる機会を作り出した。

形狩り衆

Shape hunters



駅 下泉駅  
場所 駅 舎

無名の型取り技術者集団。代表山本直(島田市出身)：静岡県立美術館ジョージ・シーガル展関連企画ライフマスクWS(1996)他。掘削実：石や流木を型取り海岸風景を再現するインスタレーション。H28文化庁新進芸術家海外派遣(パリ)



「顔の家」(2020)

作品タイトル 顔の家 下泉

地域の人たちが互いを愛おしみ、その顔かたちを唯一無二の存在証明として永遠に残そうとするプロジェクト。2年目となる今回も希望者の声に応え、新たなワークショップでライフマスクの保存収集を増やす。また人の似姿を見て型取った大井川の河原石を交えて駅舎に展示空間を作る。

三本木 歓

Kan Sanbongi



常時6つの茶箱が参加者の手によって列車を移動します。見かけたらぜひ運んでください。

東京生まれ。建築設計事務所勤務及び個人での設計活動と並行して、建築的な思考法をベースにしたインスタレーションの制作発表を行う。主な展示としてゲンピどこでも企画公募2019展(特別審査員賞受賞)等。



「light-ing well」(2019) photo: Kenichi Hanada

作品タイトル Tea Box Journey

古くより国内外への輸送手段として用いられてきた茶箱。その本来的な姿である、「茶葉を運ぶ」という用途を鉄道を介して再現し、そこに無人駅と人々の新たな関係性を構築する。茶箱と共に車窓の旅を楽しむひととき。箱の蓋は車内に乗車後にお開けください。

下泉駅

形狩り衆

田野口駅

駿河徳山駅

青部駅

崎平駅

千頭駅

移動 三本木 歓

### アートによる地域づくりのスピードを今こそ止めずに

新型コロナウイルスが世界中に蔓延して早1年。世界の在り方は大きく変化しました。移動の制限、人の人の交流の断絶。マスクや消毒が必須になり世界中の至る場所が無人化していきました。しかしながら元々密になることのない無人駅エリア。作品制作は、オンラインを活用した集落との協働制作など、制作方法や開催方法を模索。またコロナ禍から生まれるプロジェクトを公募したUnmanned Stand Projectを募集し、4組のアーティストが無人でありながら人との交流が可能となるプロジェクトを発表します。

また、ぼくらのまちじゅう文化祭「アート・プラット／大井川」も会期に合わせて開催。これは大規模イベントの開催が困難であるなか、本芸術祭と連動し、市民が主体的に小規模な文化プログラムを企画し実施するもので、初開催でありながら25のプログラムが実施予定です。

人はなぜ生きるのか。コロナ禍の今、その問いはより鮮明に浮かび上がります。改めて、現代社会が忘れていた豊かさの意味や人間の底力のようなものを「無人と呼ばれる場所」からアートを道しるべに発信していきます。

### 第25回ふるさとイベント大賞 「ふるさときらり賞」 受賞しました。



全国各地の地域の活力を生み出すイベントを表彰する「ふるさとイベント大賞((一財)地域活性化センター)」。第25回の応募総数は125件、うち8つの受賞イベントに選ばれました。

最新情報は公式サイトから

<http://unmanned.jp/>

FaceBook・Instagram・Twitterで「UNMANNED 無人駅の芸術祭」を検索



「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川」は、多くの方の支援によって開催できています。(※順不同・敬称略)  
抜里エコポリス、㈱小玉建設、日限地蔵尊、金谷コミュニティ委員会、北五和自治会、抜里町内会、島田土木事務所、寝装寝具みやち、一般社団法人エコテカわね、前田工房、金谷茶業青年団、川根茶業青年団、島田茶業青年団、世間神楽保存会、猟友会、KM会(くわきみらいの会)、お休み処まきや、古民家一棟貸しの宿熊のや、お茶のあおしま、さよばあちゃんの休憩所、であい農園、片川工務店、宙落合製材所、㈱駿遠商事、島田市立川根小学校、駿遠学園、あんまん部サポーターのみなさま